

年度	平成16～18年度
----	-----------

**基本目的 7 確かな学力と豊かな人間性をもった子どもが育つ**

**行動目標 7-1 児童、生徒が社会人となるための基礎が培われる** (所管課名 教育委員会教育総務課)

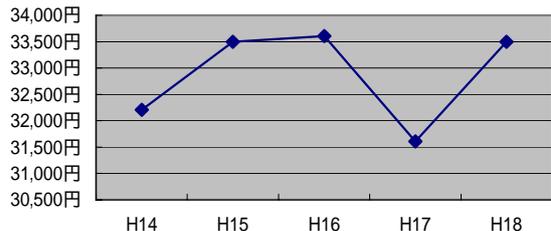
**任務** 市民が均しく教育サービスを受けることができる

**任務の成果・活動指標の推移**

**私学園児・児童・生徒1人当たりの補助額**

H14実績	32,208円
H15実績	33,500円
H16実績	33,608円
H17実績	31,611円
H18目標	33,500円

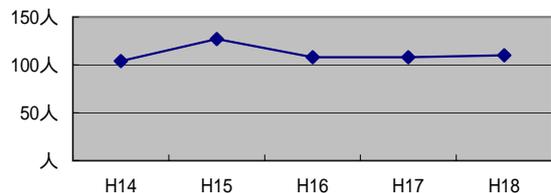
私学園児・児童・生徒1人当たりの補助額



**奨学資金の貸与者数**

H14実績	104人
H15実績	127人
H16実績	108人
H17実績	108人
H18目標	110人

奨学資金の貸与者数



**指標の説明**

市民が均しく教育サービスを受用できるためには、私立学校・園に通う児童・生徒1人あたりの補助金の額が市民にとってわかり易い指標として適当である。また、奨学金の貸与者数も同様の観点から指標に掲げた。

**任務に対する評価**

**これまでの取組と成果、手段の妥当性**

**平成16～17年度**

私立学校の教育条件の維持向上と経営の健全性を高めるため、私立小・中・高等学校(市内6校及び市外2校)へ運営費の補助を行った。また、私立幼稚園に就園する園児の保護者に対し、1人当たり一律6,200円の補助を行うとともに、世帯の経済状況に応じて、就園奨励費補助金を支給した。しかし、補助金額が最も大きい就園奨励費にかかる平成17年度の国の支給基準の変更に伴い対象者が減少したことにより、指標が落ち込む結果となった。また、奨学資金貸付制度については、貸与者数が16～17年度にかけて横ばいとなっているが、必要な対象者に貸与を行うための適正処理率としては、100%の実績となっている。

**平成18年度**

平成18年度も引き続き私立学校・園の運営費補助や園児の保育料補助を行うほか、私学助成、奨学資金付事業を重要施策の1つと捉えて、効果的かつ実態に即した事業の実施に努める。なお、就園奨励費補助金については、引き続き国の定める基準に基づき、適正な支給に努める。

**これからの課題、施策等展開の方向性**

私立幼稚園に通う園児への公費負担額について、公立幼稚園の園児の負担との格差をどうしていくのか、公立幼稚園の保育料の在り方も含めて見直す必要がある。

奨学資金貸付制度については、必要とする市民に適正な貸付を行っていくとともに、過去の応募者の推移や返還状況を精査しながら、四日市市奨学会の奨学資金原資の確保に努めていく必要がある。